

令和5年度 第1回学校運営協議会及び第1回コンプライアンス委員会 記録

1 日 時 令和5年5月31日(水) 午後1時30分から午後3時まで

2 会 場 藤枝特別支援学校焼津分校 相談室

3 参加者

(1) 学校運営協議会委員

特定非営利活動法人 焼津育成の会 野いちご 監事 様

株式会社 吉村 商品物流部 商品管理課 課長 様

ほりお小児科医院 院長 様 (欠席)

焼津分校 PTA会長 様

(2) 本校職員

校長、副校長、事務長、部主事、教務主任

4 会議次第

(1) 開会

(2) 校内参観

(3) 協議

(4) 第1回コンプライアンス委員会

(5) 閉会

5 会議内容

(1) 開会

ア 校長挨拶

- ・4月に赴任。3月までは袋井特別支援学校に勤務していた。
- ・本校は平成25年に開校した高等部単独分校。高等学校内で共に学び、共に育つ場として設立した。生徒同士が交流し、共に学ぶ環境としてはとても望ましい。
- ・会議を通して地域の方の声を伺い、よりよい実践をしていきたい。1年間よろしくお願ひしたい。

イ 自己紹介

ウ 日程説明

(2) 校内参観

- ・授業は、生徒会の様子を参観していただいた。生徒が主体的に話し合い活動をする姿、自主的に委員会活動に取り組む姿が見られた。
- ・焼津水産高校との共生・共育の様子について掲示物を用いて説明した。3年間の在学中に多種多様な交流の機会があり、大きな学びと成長の場になっていることを伝えた。

(3) 協議

ア 本日の協議の趣旨説明

- ・本日の協議の目的が「今年度の本校の学校経営計画を承認いただくこと」「各委員に各自の役割を踏まえて意見をいただくことで、学校運営に対する支援の充実を図ること」であると説明した。

イ 学校運営協議会について

(ア) 規則、要項確認

- ・質問、意見なし。

(イ) 会長・副会長の選出

ウ 令和5年度の学校経営計画について

(ア) 説明

- ・学校教育目標「ひびき合い、つくり合う中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる～地域で自立し、地域に貢献する人づくり～」の実現のために、安全・安心、授業、連携の三つの柱を立てて取り組んでいる。今年度は特に、生徒も教職員も主体者として行動すること、個別の教育支援計画・個別の指導計画について、年間を通じて生徒と共に活用していくことを重点としている。

(イ) 質問意見（・）とそれに対する回答（→）

- ・授業の成果目標が他の目標の数値と比べて低いのはなぜか。
→目標の達成率を再検討する。（→検討後、80%を90%に修正した。）
- ・授業の目標や生徒の目標は理解したが、教師の目標はどこにあるのか。
→「静岡県教員育成指標」に従い、一人一人のキャリアステージに応じた目標を設定して取り組んでいる。キャリアステージに応じて実践・省察・改善を繰り返しながら必要な資質能力を身に付けることを目指している。本年度は、一人一事例報告や外部研修の受講、ミニ学習会を通じて研修を行うことを考えている。
- ・昨年度は学校の体制に不透明な部分を感じ、保護者としては不安な面があった。事後報告でなく、その時の状況と今後の方向性が分かると良い。
→今年度は、生徒と保護者の皆さんに不安が生じないように努めていく。

(ウ) 「主体者として行動できるためにどんな取り組みをすればよいか」をテーマにした意見交換（付箋を使ったKJ法）を実施。

【自分ができること】

- ・1年間の目標を立てる。
- ・前年度にこだわらず、前向きな発想を取り入れる。
- ・一人一人が自分の考えや意見を自由に言える環境づくりをする。
- ・考える時間を作る。
- ・目標ひとつとっても、言葉をかみくだいて伝える。

【相手との関係を良くすること】

- ・どんなことにも感謝の気持ちを持って接する。
- ・相手の望んでいることが何かを理解する。
- ・相手の意見を聞く。
- ・相手のことを否定しない。
- ・気づいたら伝える。
- ・やる気を高める工夫をする。（褒める、アドバイスをする）
- ・相手のいいところだけを伝える。（モチベーションアップ）

- ・自分の短所は誰かの長所という考え方を持つ。
(自分の至らない点は埋めてくれる人がいるからうまくいくという考え方)
- ・自分の意見、気持ちを伝える練習→安心感に繋がる。

【職場の環境・雰囲気づくり】

- ・適材適所。
- ・自分の長所、短所を知り、周りにも知ってもらう。
- ・自分の得意なことを表現できる場を作る。
- ・経験者が教える→わかる、できる→主体者として行動できる。
- ・ミスや失敗はある⇔納得できる説明と日頃のコミュニケーションが大事。
- ・安心できる、笑顔が多い環境→教師の明るさ
- ・やってみようと思える環境づくり（支援、機会、状況）
- ・複数で対応する。
- ・人々と違った見方をする。

【広い視野をもつこと】

- ・なんでも言える起案書。（社長も社員も同じ立場で。アイデアを広く募集する。）
- ・職種を知る。
- ・世の中の動きに関心を持つ。

➡多くの意見が出されたので、すぐに取り組めること、熟考してすることを精査して取り組んでいきたい。

(4) 第1回コンプライアンス委員会

ア 不祥事根絶への取組計画

(ア) 各月の重点

- ・年間を通じていくつかのテーマを分散させ、それぞれの不祥事根絶に対する意識を保つようにした。本年度の生徒総会で「焼津分校を日本一ハッピーな分校にしたい」と生徒会長が述べた。職員にとっても「ハッピーな職場」にしていきたい。そのために、何をすべきか、何を減らすかを考え、見える化して示すようにする。

(イ) 質問・意見

- ・なし。

(5) 閉会（諸連絡）

- ・年間3回の学校運営協議会。御意見をたくさんいただき、襟を正していきたい。いただいた意見を今後の教育活動に活かしていく。
- ・次回以降の学校運営協議会の開催日を再調整したい。それぞれ都合を確認していただき、返答していただくようお願いした。